

2020年3月期 第2四半期決算説明会

2019年10月28日

日本システムウェア株式会社

取締役 執行役員常務 須賀 譲

Humanware By Systemware

1. 第2四半期決算概況

連結業績 概要(第2四半期累計)

(単位:百万円)

	2020/3期 2Q累計 実績	期初計画比		前年同期比		期初計画	2019/3期 2Q累計 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	18,485	+885	+5.0%	+1,733	+10.3%	17,600	16,752
営業利益	1,873	+393	+26.6%	+464	+32.9%	1,480	1,409
同率	10.1%	+1.7p		+1.7p		8.4%	8.4%
経常利益	1,888	+388	+25.9%	+451	+31.4%	1,500	1,437
同率	10.2%	+1.7p		+1.6p		8.5%	8.6%
当期純利益	1,309	+309	+31.0%	+355	+37.3%	1,000	954
同率	7.1%	+1.4p		+1.4p		5.7%	5.7%
受注高	18,285			+887	+5.1%		
受注残高	14,208			△214	△1.5%		
							14,423

➤ 売上、利益ともに期初計画を達成し、増収増益。

連結業績 主な増減要因

期初計画比

【売上高】

ITソリューション	+540百万円
サービスソリューション	+390百万円
プロダクトソリューション	△50百万円

【営業利益】

売上増に伴う増加	+160百万円
売上総利益率の改善 (+1.0p)	+180百万円
販管費における 研究開発費執行遅れ	+50百万円

前年同期比

【売上高】

ITソリューション	+930百万円
サービスソリューション	+560百万円
プロダクトソリューション	+240百万円

【営業利益】

売上増に伴う増加	+310百万円
売上総利益率の改善 (+1.4p)	+260百万円
販管費増(人件費等)	△110百万円

ITソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

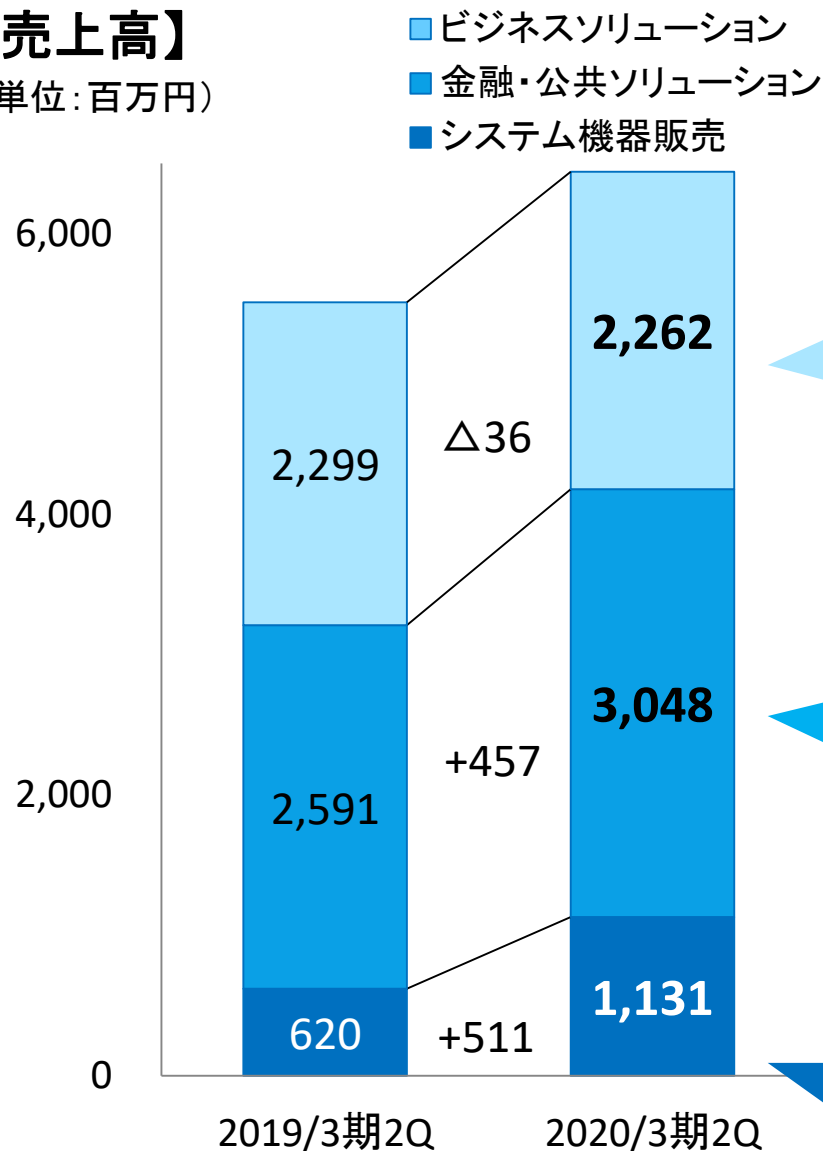
	2020/3期 2Q累計 実績	期初計画比		前年同期比		期初計画	2019年/3期 2Q累計 実績	
		増減額	増減率	増減額	増減率			
		売上高	6,443	+543	+9.2%			+931
ビジネスソリューション	2,262	/		△36	△1.6%	/		2,299
金融・公共ソリューション	3,048			+457	+17.6%			2,591
システム機器販売	1,131			+511	+82.4%			620
営業利益	715	+255	+55.5%	+282	+65.3%	460	432	
同率	11.1%	+3.3p	/		+3.2p	7.8%	7.9%	
受注高	6,448	/			+219	+3.5%	/	
受注残高	6,404			△568	△8.1%	6,972		

- ▶ 売上、利益ともに期初計画を達成し、増収増益。
ビジネスソリューションにおいて不採算案件発生(約150百万円)。

ITソリューションセグメント 概況(2)

【売上高】

(単位:百万円)



【ビジネスソリューション】

- 製造業向け、小売業向け
パッケージ関連は堅調推移も、前期大型受託案件の反動等により減少
- 物流業向け
パッケージ関連、受託案件ともに堅調推移
- その他システム開発
情報通信業向け受託案件などが増加
- 物流業向け、およびその他システム開発において不採算案件発生

【金融・公共ソリューション】

- 金融・保険業向け
スマート決済関連は増加も、生損保系案件の縮小により減少
- 官公庁・団体向け
社会保障関連や団体向けのシステム開発、インフラ構築案件などが増加

【システム機器販売】

既存顧客におけるPOS入替などにより増加

サービスソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

	2020/3期 2Q累計 実績	期初計画比		前年同期比		期初計画	2019年/3期 2Q累計 実績	
		増減額	増減率	増減額	増減率			
		売上高	4,793	+393	+8.9%			+558
デジタルソリューション	989	/		+149	17.7%	/		840
クラウド・インフラサービス	3,803			+409	12.1%			3,394
営業利益	276	+186	+207.7%	+217	+364.6%	90	59	
同率	5.8%	+3.8p	/		+4.4p	2.0%	1.4%	
受注高	4,398	/			+513	+13.2%	/	
受注残高	3,954			△174	△4.2%	4,129		

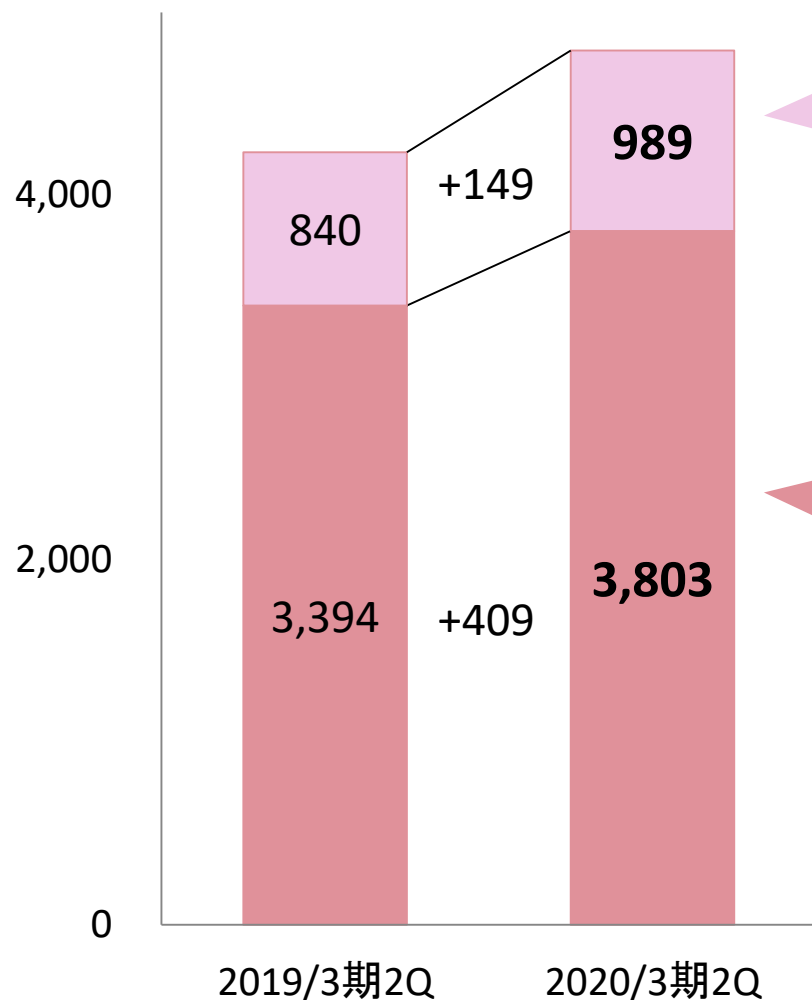
- ▶ 売上、利益ともに期初計画を達成し、増収増益。
クラウド・インフラサービスの収益性改善進む。

サービスソリューションセグメント 概況(2)

【売上高】

(単位:百万円)

- デジタルソリューション
- クラウド・インフラサービス



【デジタルソリューション】

- IoT・AI
製品IoT化案件を中心に増加。
AIは引き合い多く、PoC案件増加
- WEB・EC
既存、新規案件ともに堅調に推移

【クラウド・インフラサービス】

- クラウド
既存案件のクラウド化などにより増加
- インフラ・DC
ネットワーク構築案件や運用系サービスが堅調に推移
- その他サービス
データ連携サービスやWindows10対応などが増加

※ PoC (Proof of Concept): 新しい概念や理論やアイデアの実証を目的とした検証やデモンストレーション

プロダクトソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

	2020/3期 2Q累計 実績	期初計画比		前年同期比		期初計画	2019年/3期 2Q累計 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	7,249	△50	△0.7%	+243	+3.5%	7,300	7,006
組込み開発	4,235	/		+129	+3.2%	/	
デバイス開発	3,013			+113	+3.9%		
営業利益	881	△48	△5.3%	△35	△3.9%	930	916
同率	12.2%	△0.5p	/		△0.9p	12.7%	13.1%
受注高	7,438	/		+154	+2.1%	/	
受注残高	3,848			+528	+15.9%		

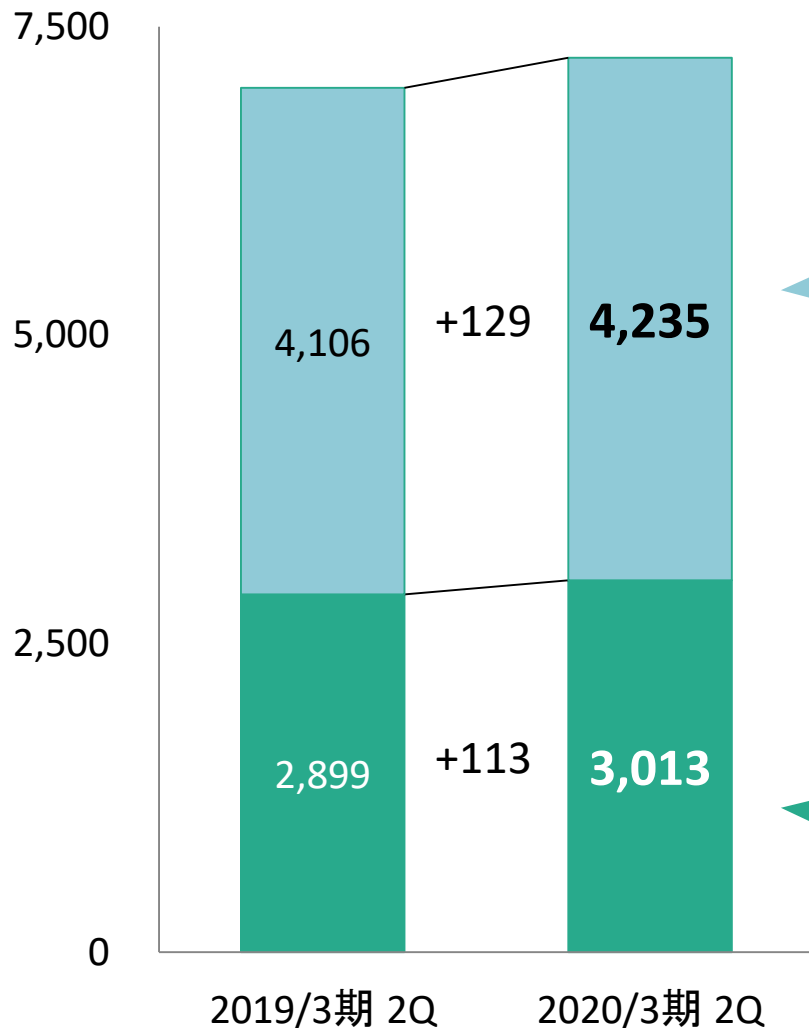
- 売上増収も、期初計画にわずかに届かず。
組込み開発の一部分野が縮小し、利益横ばい。

プロダクトソリューションセグメント 概況(2)

【売上高】

(単位:百万円)

■ 組み込み開発
■ デバイス開発



【組み込み開発】

- 設備機器
産業設備、医療機器などの新事業領域が大幅拡大
- オートモーティブ
カーナビなど従来型のIVI関連が減少。ADAS関連やコネクテッド領域にシフト
- モバイル
通信キャリア向け開発案件が減少
- 通信
5G関連案件などが増加

【デバイス開発】

画像処理分野を中心に増加

※IVI(In-Vehicle Infotainment) : 主に車載システムにおいて、情報(インフォメーション)と娯楽(エンターテイメント)を提供するシステムの総称

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2020年3月期 第2四半期末	2019年3月期 期末	前期末比
流動資産	19,854	19,395	+459
固定資産	8,670	8,816	△146
資産の部	28,524	28,211	+313
流動負債	5,995	6,779	△784
固定負債	2,284	2,235	+49
負債の部	8,280	9,015	△735
純資産の部	20,244	19,196	+1,048
流動比率	331.1%	286.1%	+45.0p
固定比率	42.8%	45.9%	△3.1p
自己資本比率	71.0%	68.0%	+3.0p

現金及び預金 +619
たな卸資産増加 +547
受取手形及び売掛金減少
△759

未払法人税等 △302
賞与引当金 △236
未払消費税 △138

当期純利益 +1,309
配当金の支払 △264

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2020年3月期 2Q累計期間	2019年3月期 2Q累計期間	前年同期比 増減額
現金及び現金同等物の期首残高	8,402	6,593	+1,808
営業活動による キャッシュ・フロー	1,050	979	+71
投資活動による キャッシュ・フロー	△164	△231	+67
財務活動による キャッシュ・フロー	△264	△229	△34
現金及び現金同等物の増減額	619	515	+104
現金及び現金同等物の期末残高	9,021	7,108	+1,912

【営業キャッシュ・フロー】

税前当期純利益	1,890
売掛債権	871
たな卸資産	△545
賞与引当金	△236
法人税等の支払	△813

【投資キャッシュ・フロー】

有形固定資産取得	△54
その他投資支出 (ライセンス費用等)	△81

【財務キャッシュ・フロー】

配当金の支払	△264
--------	------

Humanware By Systemware

2. 事業トピックス

お客様のDX推進にむけて

『DX推進』と『DX推進における弊害を除去』
この両面を支援することにより、
真のDX推進を実現

お客様のデジタル
ビジネス革新を実現

ビジネスモデル
の変革

ビジネスプロセス
の変革

お客様の
DXを推進

DX推進の
弊害・課題を除去

DX推進のリソース創出

現行システムの
効率化、省力化、自動化

守りのIT投資から
攻めのDX投資へ

デジタル技術の利活用でお客様のデジタルビジネス革新を実現

注力デジタル技術

IoTプラットフォーム「Toami」を中心に、デバイスからクラウドまでのIoTトータルソリューションを提供。

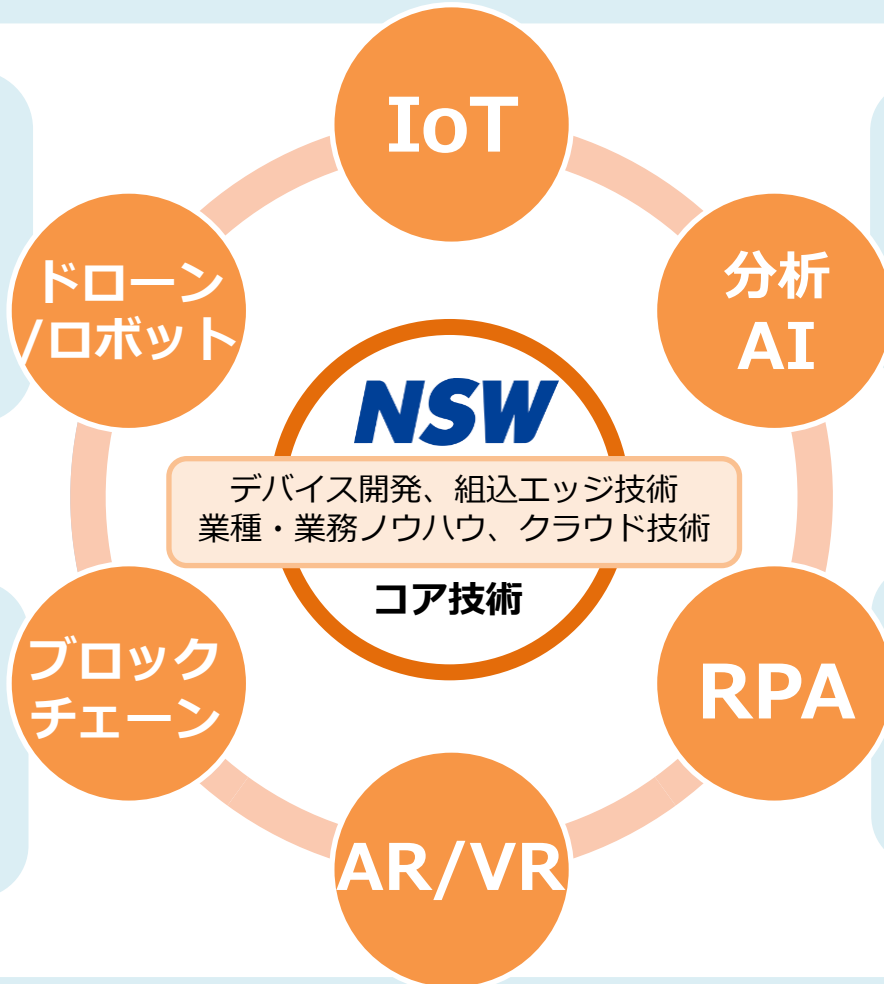
ドローンとAIを活用した建物メンテナンスサービスや、走行装置にADAS機能を追加する外付け汎用制御ユニットなどを提供。

得意とする画像処理技術をベースにした画像/動画分析や、AIソリューションを提供。

セキュリティ分野を中心としたソリューションや、PoCから業務活用への有効性判断の支援などを実施。

ECのバックオフィス業務や運用業務のノウハウを活かした業務効率化を提供。

ARを活用した現場効率化やAR/VRコンテンツ作成、xRを利用したECサービスの展開など幅広く提供。



日本マイクロソフトとDX実現に向け連携

業種特化マイクロソフト パートナー プログラム

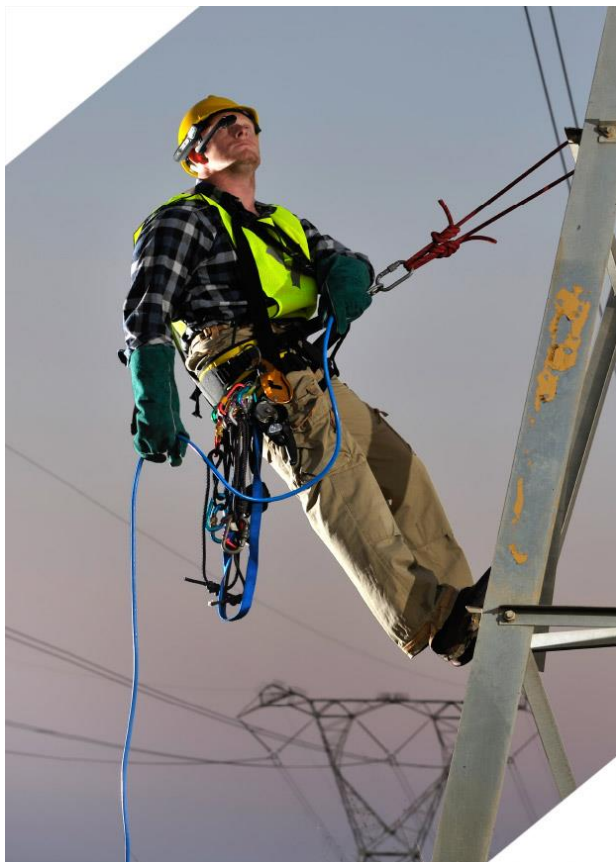


MPN for Industry



日本マイクロソフトのパートナープログラムへ参画
AI・IoTを活用してお客様のDX推進を支援

産業用スマートグラス RealWear

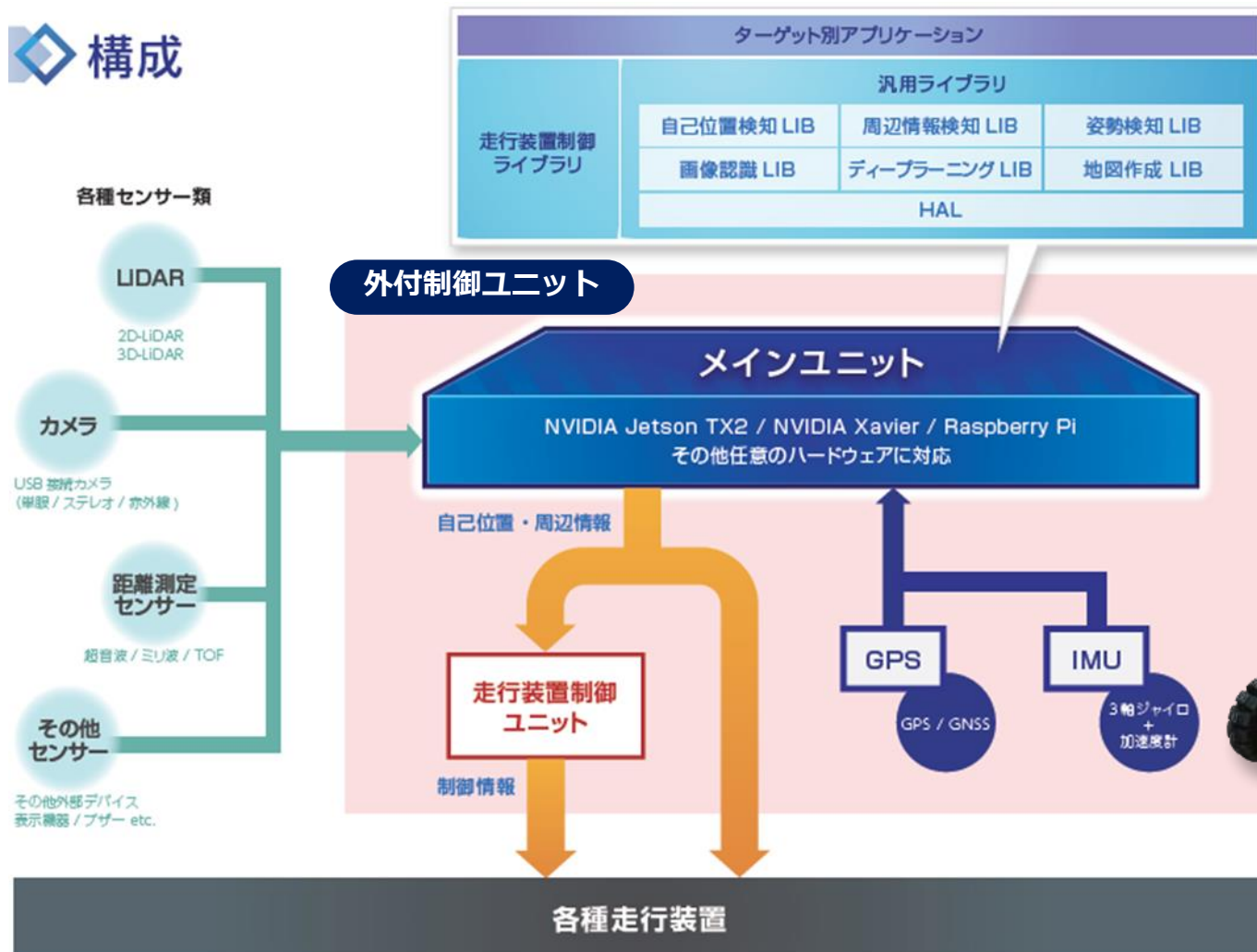


- ・100%音声操作が可能な産業用スマートグラス
- ・グローバル1000社導入の実績
- ・防爆対応モデルも販売

**米国RealWear社と販売代理店契約を締結
産業用スマートグラスにアプリケーションを組み込み、
お客様に最適な形で提供**

自動運転・ADAS用外付制御ユニット

構成



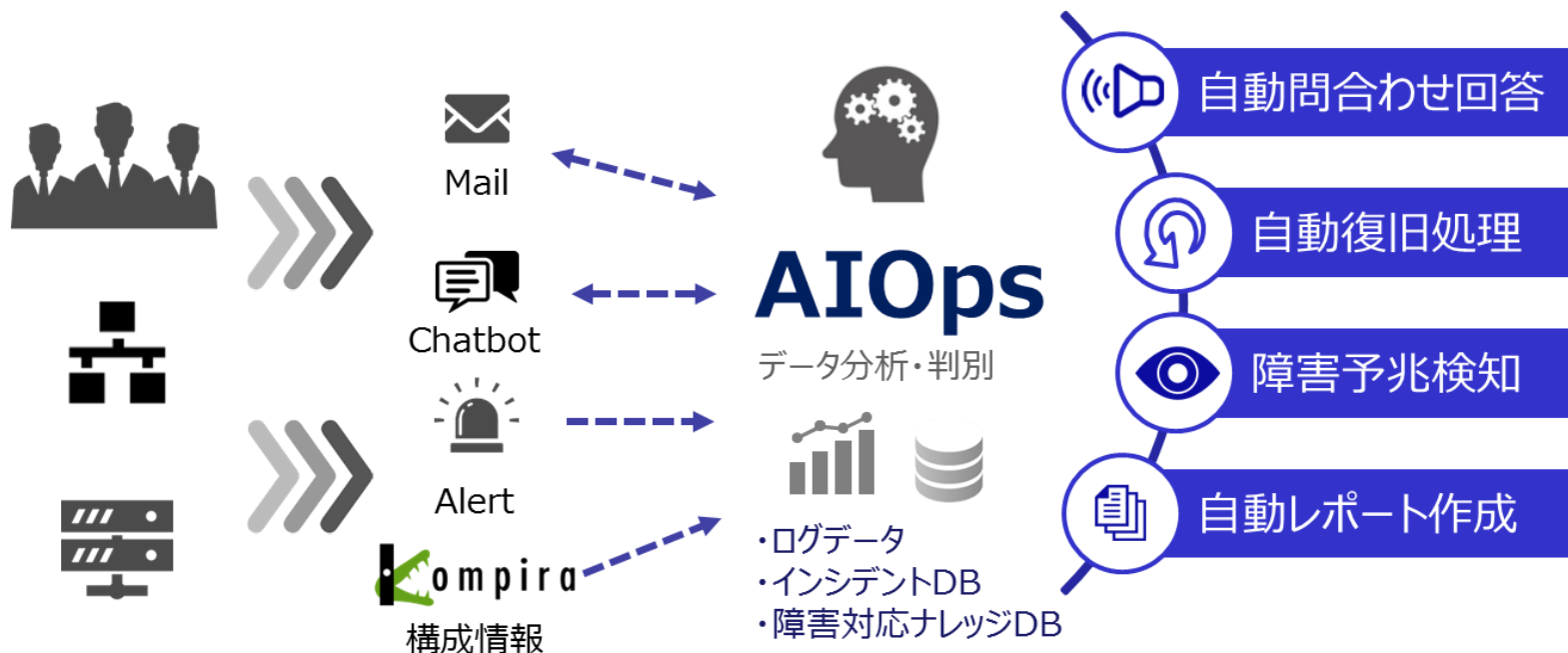
クローラー型モビリティ
ロボット「UNiBO」も提供



クエストエンジニアリング製

既存の走行装置に取り付けることで
自動運転・ADAS機能が追加可能なデバイス

統合運用監視サービスにAIOpsを追加



煩わしいシステム運用分野のデジタルトランスフォーメーション（DX）

運用品質向上

IT人材不足解消

運用コスト削減

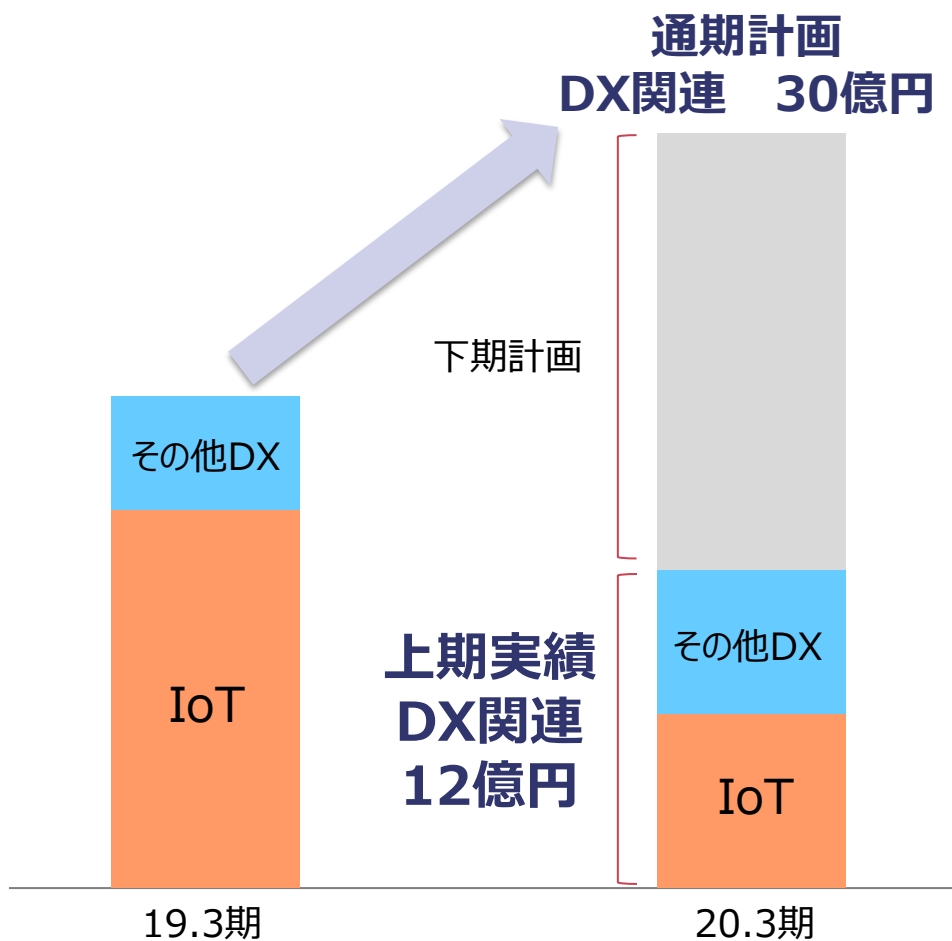
働き方改革

**システム運用監視にAIを活用
運用管理者の業務判断の一部をAIが代替**

DX関連事業 進捗状況

DX FIRST

お客様のDX実現を先導する企業へ



IoT Cloud Platform
Toami
Powered By ThingWorx

- お客様の本番フェーズへの移行が拡大
- アライアンス拡大によるサービスの拡充
- 分析・AIソリューションの強化

&

- 自動運転、ADAS領域の強化
- AR、スマートグラスなど先端技術やデバイスの活用
- クラウドやデータ連携など既存デジタルビジネスの拡大

Humanware By Systemware

3. 通期業績見通し

連結業績予想

(単位:百万円)

	2020/3期 下期 期初計画	前年同期比		2020/3期 通期計画	前年同期比		2019/3期 実績
		増減額	増減率		増減額	増減率	
売上高	20,400	+1,045	+5.4%	38,000	+1,892	+5.2%	36,107
うちDX関連				3,000	+1,500	+200.0%	1,500
営業利益	2,020	+74	+3.9%	3,500	+145	+4.3%	3,354
同率	9.9%	△0.1p		9.2%	△0.1p		9.3%
経常利益	2,040	+69	+3.5%	3,540	+132	+3.9%	3,407
同率	10.0%	△0.2p		9.3%	△0.1p		9.4%
当期純利益	1,400	+67	+5.1%	2,400	+113	+5.0%	2,286
同率	6.9%	△0.0p		6.3%	△0.0p		6.3%

- 不確定要素が多いことから、通期計画を据え置き
- 将来の成長に向け戦略的事業投資を継続、事業基盤の強化に取り組む

セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		2020/3期 下期 期初計画			2020/3期 通期計画			2019/3期 実績
		前年同期比		前年同期比				
		増減額	増減率	増減額	増減率			
IT ソリューション	売上高	7,300	+251	+3.6%	13,200	+640	+5.1%	12,559
	営業利益	790	△5	△0.7%	1,250	+21	+1.7%	1,228
	同率	10.8%	△0.5p		9.5%	△0.3p		9.8%
サービス ソリューション	売上高	5,400	+429	+8.6%	9,800	+595	+6.5%	9,204
	営業利益	290	+55	+23.5%	380	+85	+29.1%	294
	同率	5.4%	+0.7p		3.9%	+0.7p		3.2%
プロダクト ソリューション	売上高	7,700	+363	+5.0%	15,000	+657	+4.6%	14,342
	営業利益	940	+25	+2.8%	1,870	+38	+2.1%	1,831
	同率	12.2%	△0.3p		12.5%	△0.3p		12.8%

子会社の新報告セグメントへの読替えにおいて一部誤りがあったため、2019年7月26日付で「ITソリューション」と「サービスソリューション」の2019年3月期実績および2020年3月期計画の内訳を訂正しております。

成長戦略と財務健全性を両立した財務戦略の実現

資本効率

- 健全な自己資本の水準を維持
- 株主資本利益率(ROE)12%以上の持続的成長

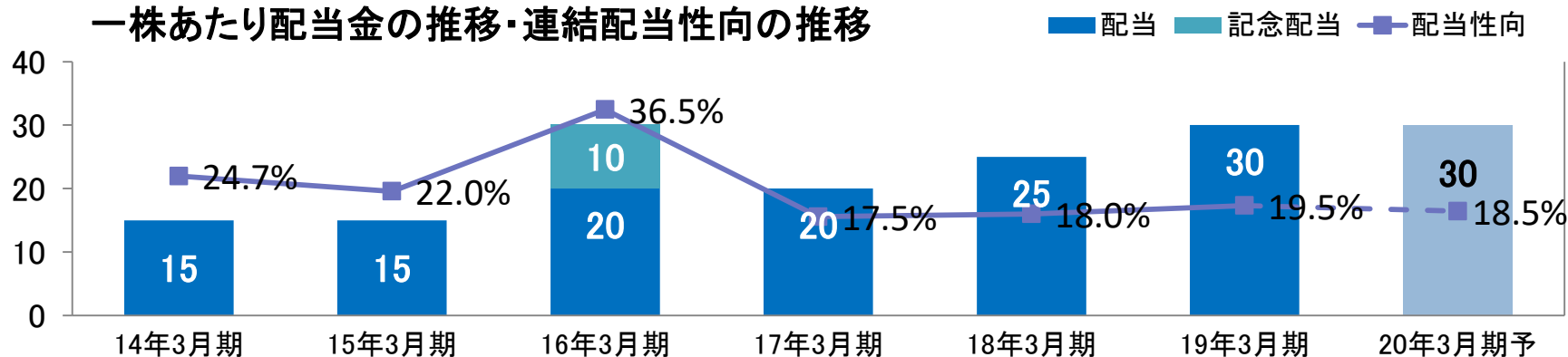
株主還元

- 安定配当を基本とし、業績連動による還元も実施
- 財務状況に応じた機動的な株主還元の検討

成長投資

- 将来の企業成長に必要な投資を継続
研究開発、M&A・アライアンス、人材育成

一株あたり配当金の推移・連結配当性向の推移



NSW

Humanware By Systemware